

「鉄と鋼」寄稿規程一部改訂のお知らせ

編集委員会では昭和 42 年に編集方針を変更し、合わせて「寄稿規程ならびに執筆要領」の改訂を行ないましたが、今回会員各位のご意向を参考としてその見直しをし、部分的な改訂を行ない、昭和 46 年 1 月 1 日より実施することになりましたのでお知らせいたします。

「鉄と鋼」寄稿規程

- 1) 本会会員は、会誌「鉄と鋼」に「寄稿区分」に示す原稿を講演発表とは関係なく投稿することができる。ただし寄書は会員でなくても投稿することができる。
- 2) 原稿は、会誌に掲載する前に他の学協会誌およびそれに類する刊行物に発表されないものに限る。
- 3) 原稿は、鉄鋼の学術ならびに技術の発展に寄与するものでなければならない。
- 4) 原稿は簡潔、正確であり、内容を容易に理解できるものでなければならない。
- 5) 原稿の執筆は「執筆要領」に基づくものとする。
- 6) 原稿の受理年月日は、原稿が本会に到着した日とする。
- 7) 原稿は編集委員会において審査し、掲載の可否を決定する。また審査の結果、修正、加筆、削除などのために原稿を返却することがある。その場合、編集委員会の指定した返却日を過ぎて再提出されたものについては、新規投稿とみなすこともある。

寄 稿 区 分

原稿区分	原 稿 内 容	原 稿 制 限	英文要旨
論 文	著者の独創になる学術および技術の成果を記述したもの	とくに制限しない	200 語以内 (和文添付)
技術報告	鉄鋼の製造技術、設備技術、管理技術および材料技術などの成果を記述したもの	表、図、写真を含め 25 枚 (450 字詰) 以内とする。ただし依頼報告はこの限りでない	200 語以内 (和文添付)
研究速報	著者の独創的研究成果で、発表期日の優先性を必要とするものであり、その理由を明確にした小論文	表、図、写真を含め 8 枚以内とする	200 語以内 (和文添付)
寄 書	著者の独創的研究成果のほか、鉄鋼に関する学術または技術についての意見あるいは提案などを編集者に対する通信の形で述べたもの	表、図、写真を含め 4 枚以内とする 図、写真は合わせて 2 枚以内とする	不 要
誌上討論	会誌「鉄と鋼」に掲載された論文、技術報告、研究速報に対する修正意見、例証、反証などを述べたもの	表、図、写真を含め 3 枚以内とする	不 要